

「『ななつ星』笑顔いっぱい」 最終選考会の結果発表について

7月15日（火）～8月31日（日）の期間中に、沿線の皆さまの「笑顔」や「おもてなしの心」を、写真、イラスト、エッセイ、動画の4部門で募集した「『ななつ星』笑顔いっぱい」の最終選考会を実施し、この度最優秀賞の受賞作品が決定いたしました。「ななつ星」の大きな魅力の一つである、沿線の皆さまの笑顔やおもてなしの心を表現した素敵な作品が選ばれております。

三ツ星、五ツ星を越える「ななつ星」の笑顔をぜひご覧ください。

【最優秀賞 受賞作品】

写真部門312件、動画部門10件、エッセイ部門106件、イラスト部門83件、計511件のご応募をいただき、各部門の最優秀作品計4作品が決定しました。

★写真部門★

タイトル：星に願いを～「ななつ星にのりいたいなあ～」
受賞者：椋本 真由美(神奈川県横浜市)



★イラスト部門★

タイトル：感動の旅に連れて行って！ななつ星
受賞者：山下 恵(福岡県福岡市)



★エッセイ部門★

タイトル：乗らずに死ねるか
受賞者：山田 なお子(東京都杉並区)

乗らずに死ねるか

今年の2月、夫がいきなり倒れ、意識不明で救急車に運ばれ、検査後も原因不明の為、不安な日々でした。
倒れてから夫の口癖は「そのうち死ぬから」
笑顔で明るい父親の死は信じられません。
そんなある日、TVでななつ星の特急がありました。
普段はTVを見ない夫が食い入る様に画面を見つめ、特に緑の扉の両面台のシーンでは、緑の扉の扉の扉として撮った作品に夫の目に光るものが・・・
「ななつ星に乗らずに死ねるか！」
夫は病に倒れる笑顔になりました。
私も夫の夢の扉からフルタイムの仕事に変えななつ星特急に乗ります。
にしても、なぜななつ星なのでしょう？
列車なら他にも山あり山あり。
「全てにおいて、満ちた列車だから、死にかけた人間には感じる物があるんだ」とボソッと。
文、書いてながら
「死ぬ前に本当の笑顔をしてみたい」
本当の笑顔、本当の人生、それは魂をこめた中にしかないのかもしれない。
ななつ星乗客にありとう。

★動画部門★

タイトル：みんな～！見えてる～？
受賞者：日高 修(鹿児島県霧島市)



※エッセイの内容は別紙をご覧ください。

- ・尚、最優秀賞を含む、優秀作品については、「『ななつ星』笑顔いっぱい」専用ホームページ (https://www.cruisetrain-sevenstars.jp/smile_project.html) にて紹介しておりますので、是非ご覧下さい。
- ・各部門の最優秀賞に輝いた方には、「ななつ星 in 九州」の日帰りの旅をプレゼントします。